

手斧始

ちようのはじめ

木の会

つちのえ・いぬ

平成三十^戊年一月十三日（土）十時四十五分

横山 白山比咩神社境内にて

白山比咩神社宮地宮司による神事

年の始めに 一年の平安無事故を祈る
木の匠たちの儀式の様子をご覧下さい

手斧始（^{ちようのはじめ} 鉦始）は、年の始めに一年の安全・繁栄を祈り、
または普請（工事）の始めに無事完工を祈り、番匠（棟梁）が
神前または仏前で催す儀式です。

岩国の「木の会」提唱の手斧始では、古式に則り、布衣・
雑色等の衣裳（狩衣）を纏い中啓（儀式用の扇）を持った
現代の建築関係者が、曲尺・墨壺・前手斧・鉋を用いて、
墨矩・墨打・手斧柄・清鉋の儀を行います。

また、神木を運び込む
「御木曳」は、伊勢神宮の
式年遷宮ご造営に当り、
神木を五十鈴川より神宮神域
まで曳く儀式に倣います。
（雅楽による巫女舞を予定しています。）



手斧橋



木の会 会員

連絡先 ○八二七―二二―二二三八

事務局 榎松重設計内